

北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業について

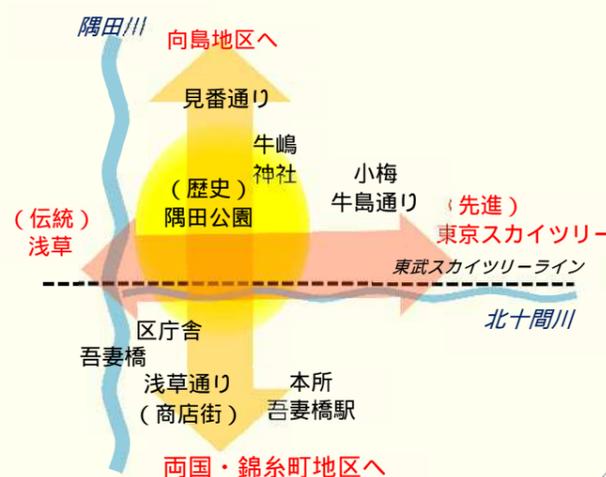
北十間川周辺エリアの将来像

北十間川周辺エリア（隅田川から東武橋まで）の一体的な空間整備に向け、区・都・鉄道事業者の各整備主体が事業コンセプト「**伝統と先進が出会う賑わい交流軸の創出**」を基に現在、関係機関共通のまちづくりの指針となる Vision Book（ビジョンブック）の策定を進めている。

[まちづくりの方向性]

- 隅田公園を中心に、まちと水辺が一体となって多くの人が集う賑わい空間を形成する。
- 歩きやすい歩行者動線と歩きたくなるしかけをつくり、浅草・吾妻橋と東京スカイツリーを効果的に結ぶ。
- 伝統や歴史文化など「すみだらしさ」を来街者が体感でき、向島地区や両国地区へと誘う。
- 固有の地区資源である河川を活用し、観光舟運等を含め「水都すみだ」の魅力を発信する。
- 訪れる人を惹きつけ、住む人・働く人も楽しめる居心地の良いまちとする。

[北十間川・隅田公園を中心とした回遊イメージ]



スケジュール

	H29	H30	H31	H32
地元勉強会 (近隣町会・商店会など)	勉強会	協議会		東京オリンピック・パラリンピック
隅田公園、小梅橋、船着場、コミュニティ道路(区)	実施設計	整備		
親水テラス、水門・樋門等耐震(都)	実施設計	整備		
鉄道高架下(鉄道事業者)	計画・設計・整備			

隅田公園再整備

- 水辺・鉄道高架下・コミュニティ道路と一体感のある調和のとれた公園
- 地元勉強会の意見等（歴史・文化、自然遊び、防災、防犯）を反映し、地域に親しまれ愛される公園
- 様々な機会を通じて来街者と地域住民が出会い、交流でき、憩いのひとときを共有できる公園
- 名所旧跡や地域資源を活用・情報発信できる公園
- 新たな利用者の需要に応える、イベント等開催可能な公園

公園・河川等での活用・行動メニュー（例）



コミュニティ道路

周辺環境と調和し、歩いて楽しくなる隅田公園から東京スカイツリー間の安全で快適な歩行者空間

鉄道高架下施設

地域特性も考慮した特色ある飲食・物販等施設
社会ニーズや環境変化に対応する可変性のある設え
水辺と公園やまちを結ぶ人が行き交う貫通路

小梅橋架替え

幅員の拡幅（7.5m 11.8m（予定））
縦断勾配の緩和と歩車分離
北十間川テラスとの連続化

